

西光寺だより

第九十七号 平成三〇年九月一日発行

まだまだ暑い日が続きますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。忘れかけていたところに、余震が起こり本堂に行く度に足元の新たな土を見ながら過ごしていることとございます。前の西光寺だよりでも申しましたが、無常のことわりを感じながらこの暑い夏を味わっていることとあります。

毎年の西光寺本堂での八月十五日の盂蘭盆会法要。今年は地震の影響で中止させていただきましたが、毎年の出来事を続けていく大変さとご先祖様を偲ぶ心を改めて感じながら一人本堂で思うこととありました。

今年の夏のお参りは新たなご門徒さんとのご縁があり、初盆を勤められるところも多くありました。そのお参りをしている中で八月十三日と十五日の間、地獄の釜が開いてご先祖様が帰ってくるを迎え火・送り火、ナスやキュウリを飾ってお仏壇を見ながらお勤めをさせていただいた事もありました。浄土真宗において特別に夏のお莊嚴があるわけではありませんが、こうしたお飾りを見ますとご家族の思いとご先祖様への感謝を感じる事とあります。

そこであるお子さんが、地獄の釜の蓋が開く間の三日間亡くなった人が帰ってくるということは、人は亡くなったら皆地獄に行くということなんですか？という質問。なかなか素直な意見でありました。浄土真宗では亡くなると思わずお浄土に行きます。だからこうしてお盆の時だけ帰ってくるというお参りはせず、いつでもどこでも見守っているからいつも通りのお莊嚴でお参りしますと、答えたこととあります。

けれど、このお盆の行事。決して忘れてはならない大切なこと、今あるいのちは亡き方がおられたからこそあるという大切なことを決して忘れてはならないという、いましめと優しさからきていると感じることもあります。

まだまだ残暑厳しいですが、いつでも、どこでも、どんな時でも、そばにおられる大きな安心と多くのつながりを感じながら、日々精進していきたいものでもあります。

合掌

●今月のことば●

九月は敬老の日の月であります。小さい子供さんたちとの会話を大切に、子供達と一緒に学びたいと思います。

◎『仏さまってなあに？』

お孫さんや小さい子供さんから聞かれてどうこたえればいいのか？なんて経験ありませんか。

仏さまはたのしかったりかなしかったりしながら、毎日過ごしているみんなにどんな時もいっしょにいるから安心してね、ひとりぼっちじゃないよとよびかけて下さっています。まるでおかあさんとおとうさんのように、いつも私たちを見まもっていてくださるのが仏さまですよ。

そして浄土真宗では阿弥陀さまという仏さまがいつも立っておられます。それは、私たちのことがしんばいでたまらない阿弥陀さまが、いつでも、どんなときでも、すぐに私たちのもとにかけつけることができるよう、立っていてくださいます。

◎『お仏壇ってなあに？』

仏さまが大切に置かれているところ。みんなが手をあわせ仏さまのお話しをきかせていただく大切な場所。そして、自分の本当の姿を映す鏡だともいわれています。

お仏壇の前に座り、手を合わせた時、自分にとって「いい人・悪い人」と分け隔てをして、周りの人を傷つけている自分が見えてきます。また、自分の思い通りになると幸せ、思い通りにならないと不幸といい、思い通りにならない人生に尊い意味を見出すことができている自分が見えてきます。そんな私たちだからこそ、阿弥陀さまを本当に尊いものとして仰いで生きていくことが大切なのです。

毎日鏡を見るように、毎日お仏壇の前で手を合わせたいものでもあります。



◆先月の報告◆

「茨木市の七〇年」 発刊

平成三〇年は茨木市市制施行七〇周年であります。「次なる茨木」として市制三〇年の心に刻んだ記憶の中のあるさとを四〇〇枚以上の懐かしい写真で再現された記念誌が発刊されました。

西光寺の鐘つき堂が出来ました時、鐘楼落慶法要の様子も掲載されております。

胸が熱くなる思い出の情景がよみがえってくる方もたくさんいらっしゃるだろうと思います。豪雨のたびにお寺の裏の安威川にかかる一本橋が流されたお話にもよく聞いておりましたが、なるほど、なるほど、とその時の光景が思い浮かんでくる写真、足袋・下駄をはいて自転車で遊んでいる子供たちの姿、唯一天文台がありました三島小学校の校舎、ウサギ狩りの様子などなど、七〇年の思い出の数々に胸がいっぱいになりました。

どうぞ、皆様にも思いを巡らしていただきたく、西光寺に記念誌がありますので見て頂けたら幸いかと思います。

◆九・十月の行事◆

・九月〇 在家報恩講

・九月十九日(水)

大谷本廟墓参(みのり講・穂積講の方)

午後二時

大谷本廟お茶所

※なお、墓参の際、念珠・経本・千円を宜しくお願い致します。

行かれない方は千円を西光寺、又は出席される方におこづけ頂きますようお願い致します。年に一度の皆さままでの大谷本廟墓参、お参り致しましょう。

・九月二十七日(木)

仏教婦人会報恩講

午後一時

西光寺本堂

・十月十四日(日)

秋季永代経法要

午後二時・七時

西光寺本堂

◎御法話

本願寺派布教使

宮部

誓雅

師